

アドバンスト・グローバルエンジニアスキル (Advanced Global Engineering Skills)		1, 2年・集中講義・2単位・選択 システム創成工学専攻・物質創成工学専攻 担当 藤田 直幸	
		〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B-1, D-1 物質創成工学専攻は対象外	〔JABEE 基準〕 c, d-2a 物質創成工学専攻は対象外
<p>〔教育方法等〕</p> <p>概要：</p> <p>特別研究に関する英文ショートレターの作成を通して専門分野の英語能力を深める。 特に、受講者同士のピアワークを通じて、英語技術文章の作成能力の向上を目指す。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法：</p> <p>グローバルエンジニアとして必要な専門分野のアカデミックライティングと英語能力を養うために、講義と演習を行う。 なお、本科目は、グローバルエンジニア養成教育プログラムの科目と一部として実施する。</p> <p>注意点：</p> <p>国際学会などでの英語での口頭あるいはポスター発表を必ず行う必要がある。</p> <p>関連科目</p> <p>特別研究、地域創生工学研究、工学基礎研究 各専攻で実施される工業外国系科目 学習指針 自己学習</p>			
<p>〔教科書〕</p> <p>なし</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>なし</p>			
<p>〔到達目標〕</p> <p>技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。さらに自らが職業意識をどのように高めたかを説明できること。社会人としての自主性、創造性および柔軟性の大切さを知ること。 さらに、学生として残された学生時代になすべきことを再考する機会とすること。さらに、グローバル技術者としての基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。</p>			
<p>〔評価割合〕</p> <p>①特別研究に関する英文ショートレターの作成（50%） ②授業中のアクティビティー（授業記録等で評価）（20%） ③国際学会などでの口頭発表もしくはポスター発表（事前もしくは事後に授業時間内にプレゼンテーションすること）（30%） 上記により、総合的に評価する。</p>			

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス		
	2 週	Academic Reading	5 年次の卒研内容について諸言を英文で作成する。 この際必要な参考文献を調べる。	
	3 週	Academic Reading	5 年次の卒研内容について諸言を英文で作成する。 この際必要な参考文献を調べる。	
	4 週	ピア・レスポンス (Presentation)	参考文献を用いて諸言を説明する。 受講生同士でディスカッションを行い、補足部分を抽出する。	
	5 週	Academic Reading	ピア・レスポンスで得られた補足事項について参考文献を調査し、修正する。	
	6 週	Academic Reading	ピア・レスポンスで得られた補足事項について参考文献を調査し、修正する。	
	7 週	ピア・レスポンス (Presentation)	受講生同士でディスカッションを行い、補足部分を抽出する。	
	8 週	Academic Writing	7 週までに得られた問題を含め再び調査し、諸言を作成する。	
	9 週	Academic Writing	引き続き、諸言を作成する。	
	10 週	ピア・レスポンス (Polishing)	受講生同士で添削を行い、英語表現について議論する。	
	11 週	ピア・レスポンス (Polishing)	10 週とは異なる受講生同士で添削を行い、英語表現について議論する。	
	12 週	Academic Reading & Writing	ピア・レスポンスで得られた補足事項について参考文献を調査し、修正する。	
	13 週	Academic Reading & Writing	ピア・レスポンスで得られた補足事項について参考文献を調査し、修正する。	
	14 週	ピア・レスポンス (Polishing)	受講生同士で添削を行い、英語表現について議論する。	
	15 週	Academic Reading & Writing	ピア・レスポンスで得られた補足事項について参考文献を調査し、諸言を完成させる。	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)